



Cisco パワーインジェクタ IW-PWRINJ-60RGDMG= 設置ガイド

[Cisco パワーインジェクタ IW-PWRINJ-60RGDMG= 設置ガイド](#) 2

製品概要 2

技術仕様 4

パワーインジェクタの設置 5

取り付け手順 10

Regulatory Information 12

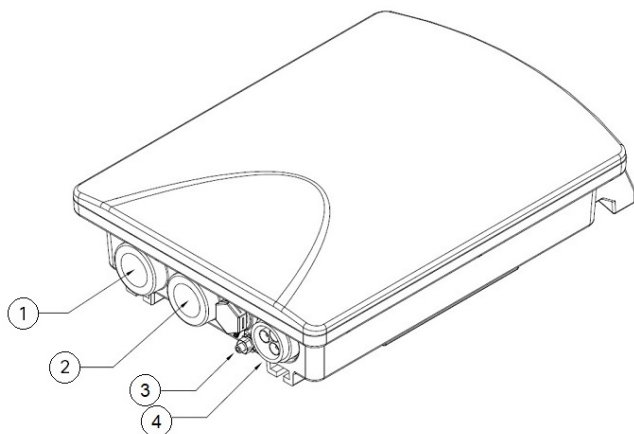
改訂：2023年9月18日

Cisco パワーインジェクタ IW-PWRINJ-60RGDMG= 設置ガイド

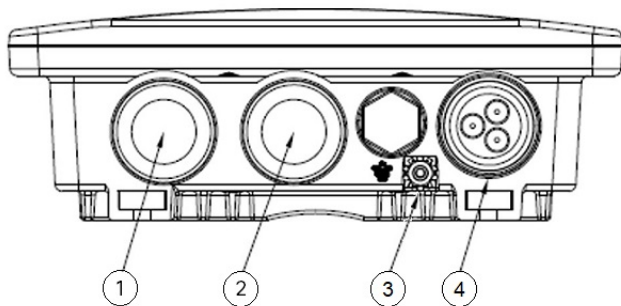
このドキュメントでは、Cisco パワーインジェクタ IW-PWRINJ-60RGDMG=（このドキュメントではパワーインジェクタと呼びます）の詳細と、取り付け手順について説明します。

製品概要

IW-PWRINJ-60RGDMG= パワーインジェクタは、90 ~ 264 VAC の範囲の単相 AC 電圧入力によって電力供給され、出力 RJ45 コネクタの適切な 4 つのデータペアの公称 DC 電圧で電力の最大出力を提供します。パワーインジェクタは、PSE として IEEE 802.3bt の要件を満たしています。入力および出力 RJ45 コネクタで 10/100/1000/2500/5000/10000 Base-T トラフィックを受け入れ、ネットワークとアクセスポイントの間でこれらの信号を通過させることができます。



次の図は、ポートと AC コンセントの配置例を示しています。



1	データおよび PoE 出力 RJ45	3	アース ラグ
2	データ専用 RJ45	4	AC 入力

パワーインジェクタの開梱

一般的なパワーインジェクタのパッケージには、次の品目が含まれています。

- パワーインジェクタ
- AC 電源プラグ
- RJ45 ポート用の液密コードグリップ (LTCG) X 2

部品の欠品または損傷が見つかった場合、シスコの担当者またはリセラーまでお問い合わせください。

追加の要件

インジェクタに電源を供給するため、電源コードを使用します。吊り天井の上などの空間にアクセスポイントを設置した場合でも、装置に接続するイーサネットケーブルが標準を満たしているかどうかについて、国および地域の安全規定を確認します。



(注) この装置の設置、交換、または保守は必ず、(IEC62368 および AS/NZS 3260 に従って) 訓練を受けた相応の資格のある保守担当者のみが行ってください。米国在住の場合は、Country、National、または米国電気規定に従ってシステムを設置します。

- 製品を使用する建物の施設では、メイン AC 入力コネクタを絶縁する必要があります。この接続には、120 VAC (米国) または 16A、230 VAC (国際) 用に 20A 以下のヒューズまたは回路ブレーカーが必要です。建物の設備では、過電流または短絡からパワーインジェクタを保護する必要があります。
- パワーインジェクタエンクロージャは IP67 テスト済みで、危険な部品へのアクセス、埃、および水の侵入に対してある程度の保護を提供します。
- パワーインジェクタエンクロージャは、壁面取り付けオプションの場合、ハンドルを上に向けて垂直に取り付ける必要があります。
- パワーインジェクタエンクロージャには、Liquid Tight Cord Grip LTCG (付属) に対応する 2 つのネジ穴 (M20x1.5) と 1 つの防水 AC 入力ソケットがあります。
- パワーインジェクタには、AC 電源コードを接続するための AC 入力プラグが付属しています。AC 電源コードの 3 線またはケーブルは、SJTOO タイプ以上のコード 3*18AWG、5-15P プラグ、および EP030-2224-01 カップラであるか、国の電気工事規定に準拠している必要があります。
- パワーインジェクタは、データポートと電源ポートで構成されています。ポートは TNV-1 出力を提供します。ポートは RJ-45 データソケットを使用します。これらのポートに電話ケーブルを接続しないでください。これらのソケットには、防水接続部付きの RJ-45 データケーブルのみを接続できます。
- パワーインジェクタの過熱を防止するために、周囲温度が次の推奨最高値を超える場所では製品を使用しないでください。推奨最高温度：-40 °C ~ +65 °C
- 雷が発生しているときには、パワーインジェクタに手を加えたり、ケーブルの接続や取り外しを行ったりしないでください。

- いつでも製品への電源を切断できるように、AC コネクタワイヤにすぐ手が届く状態にしておいてください。
- 製品の保守を行う前に、必ず AC 電源から製品を取り外してください。
- 機器は汚染度 2 環境用です。
- この製品を廃棄する場合は、該当する国内のすべての法律および規制に従う必要があります。

技術仕様

次の表に、パワー インジェクタの仕様を示します。

表 1: 技術仕様

仕様	IW-PWRINJ-60RGDMG=
入力電圧範囲および周波数	AC 入力 : 100-240 V、50-60 Hz (定格)
出力電圧および電流	<ul style="list-style-type: none"> • POE 出力 1 : 56 V/0.67 A、37.5 W PIN3、6 : +56V PIN1,2 : リターン • POE 出力 2 : 56V/0.67A、37.5W PIN4、5 : +56V PIN7、8 : リターン
物理仕様	寸法 (長さ X 幅 X 高さ) : 246 mm X 170 mm X 58.5 mm (注) 外形には、これらの寸法に +/-1.0 の許容差があります。 重量 : 4.8 ポンド
動作温度	-40°C ~ +70°C、70 °C で 60W および 65 °C で 65W の電力 ディレーティング
非動作時温度	-40 ~ +85°C
湿度	動作時 : 10 ~ 90%、結露なし 非動作時 : 10 ~ 95%、結露なし 屋外用途向けの IP67 保護等級 タイプ 4X

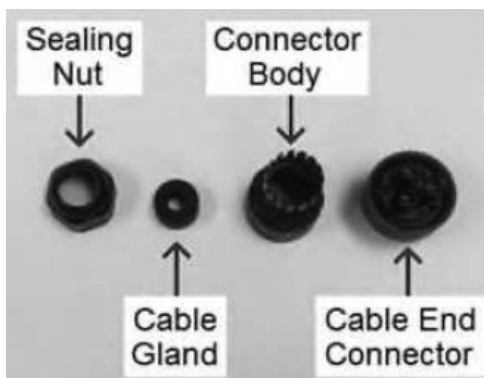
仕様	IW-PWRINJ-60RGDMG=
熱衝撃	動作時：-40℃～+70℃、70℃で60W および65℃で65Wの電力ディレーティング。 非動作時：-40℃～+85℃
高度	動作時の高度：海拔 500～17,000 フィート 非動作時の高度：海拔 -1,000～30,000 フィート
信頼性	MTBF：40℃で300,000時間
適合規格	IEEE 802.3 bt、中国 RoHS 準拠、WEEE 準拠、CE 準拠

パワーインジェクタの設置

パワーインジェクタを設置するには、次の手順に従います。

手順

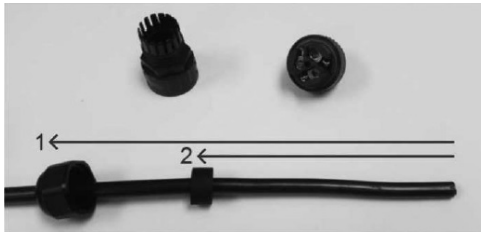
ステップ1 パワーインジェクタには、RJ45ポート用の2個の液密コードグリップ（LTCG）と、AC電源コードアセンブリ用の1個のAC電源プラグが同梱されています。3ピンメスケーブル終端の位置を確認します。



ステップ2 電源コードまたはAC電源配線を準備する



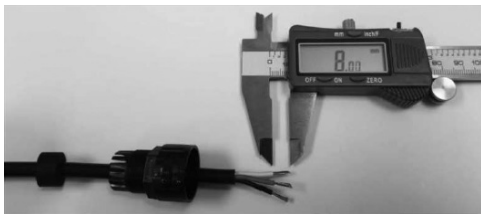
ステップ3 シーリングナット（1）とケーブルグランド（2）にケーブルを通します。



ステップ4 コードの外被覆がある場合は、端から約 25 mm (+/- 1 mm) をはがします。



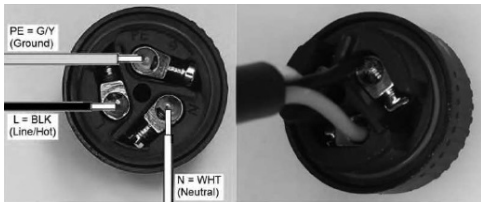
ステップ5 コネクタ本体を取り付け、各ワイヤの端から約 8 mm (+/- 1 mm) の被覆をはがします。



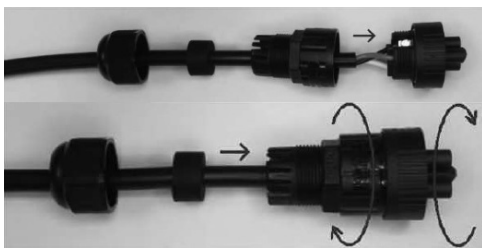
ステップ6 ワイヤのほつれを防ぐために、各ワイヤをはんだ付けすることをお勧めします（可能な場合）。



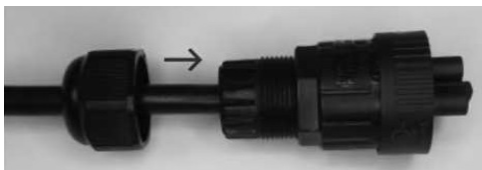
ステップ7 ワイヤをケーブル終端の適切な位置に挿入します。



ステップ8 ケーブル終端をコネクタ本体にねじ込み、ケーブルグランドをコネクタ本体に押し込みます。



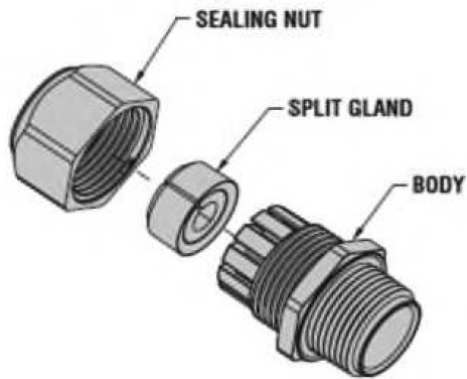
ステップ9 コネクタ本体にシーリングナットをねじ込みます。



ステップ10 ACコードが組み上がりました。



ステップ11 RJ45ケーブルに液密コードグリップ（LTCG）を取り付けます。LTCGは、シーリングナット、スプリットグラウンド、および本体で構成されています。



ステップ 12 ケーブル終端をシーリングナットに通し、スプリットグラウンドをケーブルに適用して、LTGC 本体に挿入します。



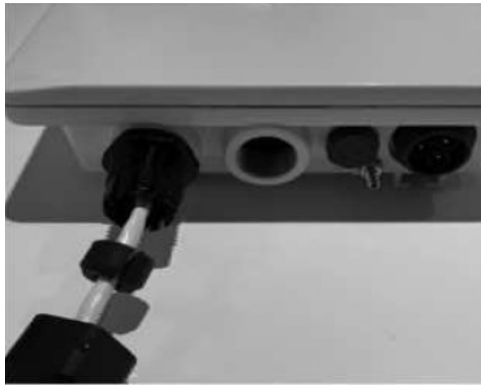
ステップ 13 (任意) 防水性能を向上させるには、取り付ける前にテフロンテープを使用してネジ山を覆うことをお勧めします。シリコンシーラントを使用して、液体の侵入をさらに防ぐこともできます。

ステップ 14 RJ45 ケーブルをパワーインジェクタに接続します。

a) RJ45 ケーブルをパワーインジェクタの RJ45 ソケットに挿入します。



b) LTGC 本体をパワーインジェクタに取り付け、40 ~ 45 インチポンド (4.5 ~ 5.1 Nm) のトルクで LTGC 本体を締めます。



c) スプリットグラウンドを LTGC 本体に押し込みます。



d) 50 ~ 55 インチポンド (56 ~ 62 Nm) のトルクでシーリングナットを締めます。



ステップ 15 他のポート接続についても、同じ RJ45 ケーブル接続手順を使用します。



ステップ 16 AC ケーブルアセンブリをパワーインジェクタの AC 入力ソケットに挿入し、マウントリングを締めます。



取り付け手順

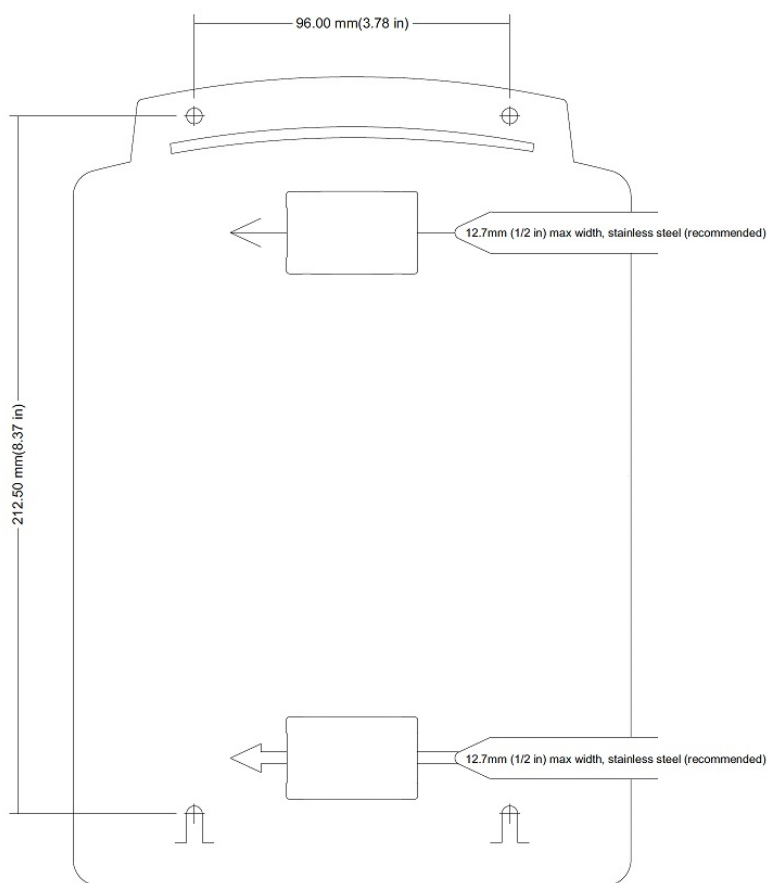
パワーインジェクタは、平面または支柱に取り付けることができます。

平面への設置

平面にパワーインジェクタを設置するには、次の手順に従います。

手順

ステップ 1 次の図をテンプレートとして使用して、穴の位置にマークを付けます。



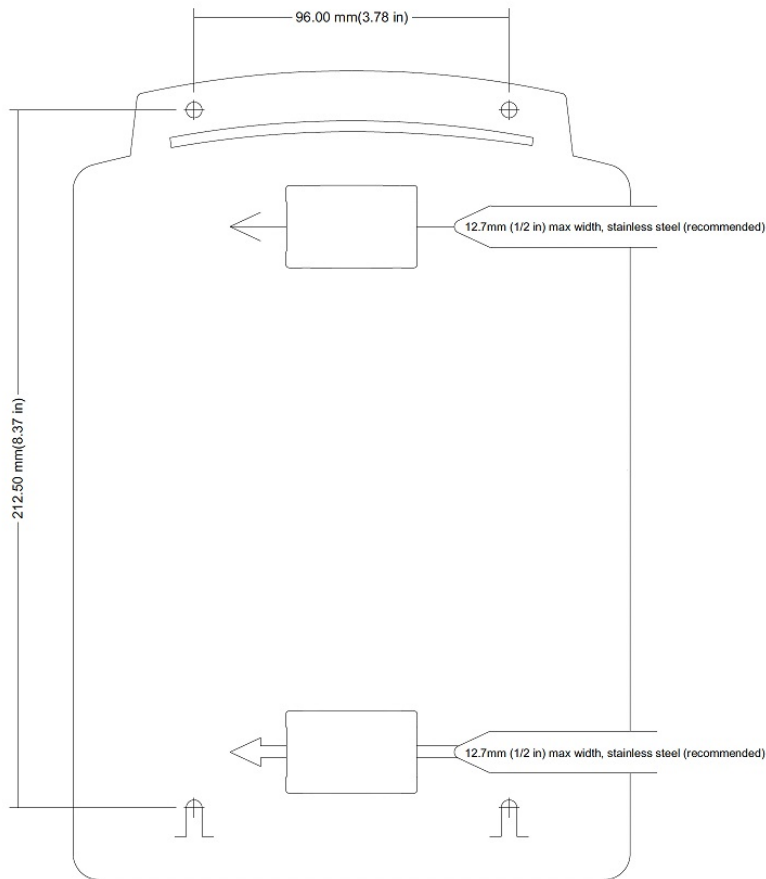
- ステップ 2** 4mm (#8) 最大サイズのネジを使用します（付属していません）。取り付け面に適した金具を使用してください。
- ステップ 3** 下部の2本のネジを取り付け、ユニットがネジにスライドできるように、ネジを面から3mm（1/8インチ）残します。
- ステップ 4** ユニットを下部のネジにスライドさせます。
- ステップ 5** 上部の2本のネジをハンドルの穴を通して取り付けます。

支柱への取り付け

パワーインジェクタを支柱に設置するには、次の手順に従います。

手順

-
- ステップ 1** 最大 12.7 mm（1/2 インチ）のストラップ幅を使用します。
 - ステップ 2** シャーシのスロットにおいてステンレススチール製のストラップを取り付けます（図に示すように2か所、付属していません）。



ステップ3 ストラップを支柱に巻き付けて固定します。

Regulatory Information

次の情報は FCC クラス B 準拠装置に関する記述です。

このマニュアルに記載された装置は、無線周波エネルギーを生成および放射する可能性があります。シスコの指示する設置手順に従って設置されなかった場合、ラジオ、テレビによる受信障害が発生することがあります。この装置はテスト済みであり、FCC ルール Part 15 に規定された仕様のクラス B デジタル装置の制限に準拠していることが確認済みです。これらの仕様は、住宅地で使用したときに、このような干渉を防止する適切な保護を規定したものです。ただし、特定の設置条件において干渉が起きないことを保証するものではありません。

シスコの書面による許可なしに装置を改造すると、装置がクラス A またはクラス B のデジタル装置に対する FCC 要件に準拠しなくなることがあります。その場合、装置を使用するユーザーの権利が FCC 規制により制限されることがあり、ラジオまたはテレビの通信に対するいかなる干渉もユーザー側の負担で矯正するように求められることがあります。

装置の電源を切ることによって、この装置が干渉の原因であるかどうかを判断できます。干渉がなくなれば、シスコの装置またはその周辺機器が干渉の原因になっていると考えられます。装置がラジオまたはテレビ受信に干渉する場合には、次の方法で干渉が起きないようにしてください。

- 干渉がなくなるまで、テレビまたはラジオのアンテナの向きを変えます。
- テレビまたはラジオの左右どちらかの側に装置を移動させます。
- テレビまたはラジオから離れたところに装置を移動させます。
- テレビまたはラジオとは別の回路にあるコンセントに装置を接続します。（装置とテレビまたはラジオがそれぞれ別個のブレーカーまたはヒューズで制御されるようにします）。

シスコでは、この製品の変更または改造を認めていません。変更または改造した場合には、FCC 認定が無効になり、さらに製品を操作する権限を失うことになります。

【注意】シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意（www.cisco.com/jp/go/safety_warning/）をご確認ください。本書は、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

©2008 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco, Cisco Systems, およびCisco Systemsロゴは、Cisco Systems, Inc.またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。

本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。

「パートナー」または「partner」という用語の使用はCiscoと他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(0809R)

この資料の記載内容は2008年10月現在のものです。

この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先：シスコ コンタクトセンター

0120-092-255（フリーコール、携帯・PHS含む）

電話受付時間：平日 10:00～12:00、13:00～17:00

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/>

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。